

<Vol.84の記事>

第7回 浦スポ塾「リスクマネジメント」

サッカー会員 全年代 会員募集します!!

ふらっと広場 絵画コンテスト! みんな応募して!

【スポーツ現場のリスクマネジメント】

昨今、明るく、クリーンなはずのスポーツが連日のようにダークなイメージの事件が頻発し、新聞紙上を賑わせています。この数ヶ月だけでも、越谷西高校野球部の指導者による暴力事件、関東学院大学ラグビー部の大麻事件、されには、明治大学の応援部の問題、部活動におけるパワーハラスメントが要因となったと考えられる不登校など、もう枚挙に暇がないのが現状です。このようなタイプのものだけでなく県内でも富士見市のプール事件、昨年未の少年サッカークラブのバス転落死など気の毒なケースも多々あります。

とある弁護士の方に言わせれば、ヒトのために良かれと思ひ、ボランティア精神で頑張っている医者とスポーツ指導者(もちろん教員も含めて)の取り組みが非常におくれており、多くの問題が潜んでいるそうです。大切な人の命を預かる立場にあるにも関わらず、その配慮のなさは目を覆うものがあり、ひとたび事故が起きればまず裁判には勝てないことが多いだろうとも言われています。

もちろん、裁判に負けないようにするために、このようなリスクマネジメントを理解しなければいけないというのではなく、スポーツ指導者やクラブの運営者は、熱中症、落雷、運動中の突然死などに関する知識を身につけ、事故を最小にとどめる努力、配慮をするべきなのです。

つまり、指導者は幅広いリスクマネジメントを理解し、リーガルマインドを持った上でスポーツの現場に立つことが、スポーツの振興につながり、指導を受ける側にとっても、指導者にとっても、より多くの方がスポーツを楽しく・永くスポーツを続けられる環境づくりにつながるものと考えていくことが必要です。

このような考えのもと、1/26(土)に開催した第8回浦和スポーツ塾では、スポーツ法務事務所代表の谷塚哲氏(行政書士)を講師にお迎えし「スポーツ現場におけるリスクマネジメント」についてお話いただくこととなりました。

当日、会場の浦和高校同窓会館は、45名の参加者

で満員となり、熱心に谷塚氏の話しに聞き入り、終了後にはいろいろな相談をされている方の姿がありました。



講師の谷塚氏



満員の会場

谷塚氏は、具体的な判例などをやさしく噛み砕いて紹介しながら、以下のようなお話をされました。

- ・リスクマネジメントの欠如は、地域のクラブに限った問題でもなく、プロスポーツ、学校スポーツ、実業団スポーツ、日本のスポーツ界全体の問題である。
- ・実際にはスポーツ中の事故や怪我においてクラブや指導者に何千万という賠償を求められる時代であるのにこういった事実を直視しようとしていない現状は非常に危険である。
- ・もっともっとスポーツ界はこういったリスクに対するマネジメントに意識を持ち、それを活かしてもらうことが必要。
- ・裁判所も意外に柔軟な判断をしているのが現状であり、これをやったら駄目、これをやっていたら大丈夫という一律の観点はない。
- ・個別に相談を受け「こういう場合は危ないからこうした方がいいですよ」という助言に対して、受け取る側としては、「それはやってはいけない」と捉えられる傾向が強い印象を受ける。
- ・確かに危ないか危なくないかで判断すれば、危なければやらないことが一番であるが、それではスポーツができなくなってしまう。
- ・スポーツと言うものはもともと危険が内在しており、だからこそルールに則って起こった事故や怪我に関しては自己責任であるという大前提がある。それがスポーツと危険の本質である。
- ・スポーツ指導者はこの意味を十分理解して、積極的

なスポーツ指導を行ってほしい。

- ・リスクマネジメントの話聞いて消極的になられてしまうことは、本意ではない。
- ・危ないからやらないのではなく、その危険性を認識した上で、そのプログラムを実施する意義と照らし合わせた中で、危なくないように指導、監督するのが指導者さらにはクラブ・学校の努めだと思っている。

さらに、地域クラブにおけるリスクマネジメントについて「重要なセーフティネットは、クラブを好きな人を増やしていくことです。クラブに関わる人たちに信頼関係があれば、責任のなすりあい・すりつけあいのようなことはおきにくくなります。クラブ関係者が、自分達の活動をより良いもの、より安全に楽しく続けるために、どうしたらよいかを考えていくことにつながります」とアドバイスをいただきました。

クラブに参加するみんなが、スポーツを安心して続けられるよう、お互いに気を付けていきたいと思いません。皆様のご協力をお願いいたします。

次回浦スポ塾は、応急措置について!!

開催日：3月1日(土)

時間：17時～19時

場所：県立浦和高校 同窓会館

講師：塩野潔(埼玉県サッカー協会医事委員)

テーマ：「スポーツ現場における応急対応」

***日程が変更になりました ご注意ください**

【サッカー 全年代 会員募集します】

浦和スポーツクラブのサッカー部門では、現在、サッカー広場の年中さん(4～5歳)から、スーパーシニアサッカー広場の70代まで活躍しています。

サッカー広場：新年度の募集要項を近日中配布

U-15：2月6日駒場サブにて新中1向けセレクション! その他、毎週水曜日に体験練習受付中! 読売クラブ(ヴェルディ)設立メンバーの監督のもと、技術を磨こう!

U-18:募集再開! 水・土・日曜に練習できます。当面は市民リーグに参戦できます!

選手：気分一新して市3部から再出発! 将来的に関東リーグを目指します! **やる気の有る方歓迎します。** 水・土・日曜に練習。

生涯：年齢制限なし! いろいろな職業、いろいろな年代の仲間と、毎週楽しくサッカーで汗をかきませんか!

スーパーシニア広場：60歳以上の方。毎週木曜日の午後に駒場サブグラウンド。

子どものサッカー広場、スーパーシニアサッカー広場、生涯コースは、いずれも所属チーム等にこだわられません。どこかのチームにはいっていても、毎週練習

したい人など大歓迎です!

【2月も・・・土曜の夜は星空サッカー!】

多年代・個人・自由参加型サッカー「星空サッカー」が浦和高校で12月1日から始まっています。小学生のお子様と一緒にサッカーをしたいお父さんに大好評! サッカー初心者の方も楽しまれています!!

開催予定日 2月2日、9日、16日、23日

時間 18時～20時

【フラット広場イベント目白押し】

常盤10丁目の多世代型交流拠点「ふらっと広場」では、2月～3月にかけて、各種イベントを実施します。

サティへの買い物のついでに寄ることもできます(サティから徒歩1分)。どうぞ、皆さんご参加ください。

お絵かき広場開催

この日はインストラクターの方が、楽しく絵が描けるようサポートしてくれます!

コンテスト作品を、ここで描くのもOK!!

日時：2月16日(土)午後1時半～4時頃

参加費：無料 対象：誰でも

講師：加藤典子(生涯学習インストラクター)

持ち物：色鉛筆かクレヨンなど。

パパと遊ぼう!!

幼児期は、神経系の発達や親とのスキンシップにも非常に重要な時期で、いろいろな体の動かし方を覚えておくことが大切です。

パパ! 子どもと遊びましょう!

開催日：2月16日と3月1日

時間：10～12時 参加費：無料

対象：3～5歳頃の子どもと父親

講師：竹田好(スポーツプログラマー)

ふらっと広場開設記念 絵画コンテスト!!

「楽しかったこと・嬉しかったこと」あなたが「楽しかったこと」、「嬉しかったこと」を絵にしてください。画用紙に、色鉛筆・絵の具・クレヨンなど好きなもので描いてください。応募作品は、すべて「ふらっと広場」に展示させていただきます。

年齢制限はありません。子どもでも、大人でも大歓迎です!

※切り：3月3日(月)

入選発表：3月17日頃

画用紙の裏に、お名前、年齢、連絡先を書いて「ふらっと広場」にご持参ください

応募者全員に参加賞、入賞者には賞品あり。

問合せは、ふらっと広場(048-824-9636)へ